

さるびあ

2013年
(平成25年)5月
第14号

運営理念

つながる
"きずな"
広がる
"笑顔"

あなたらしさの
お手伝い



今年度は表紙写真で
五色町の風景をご紹介します。
今回はウェルネスパーク五色の鯉のぼりと「愛と希望の鐘」です。

発行

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団
洲本市五色健康福祉総合センター

TEL(0799)33-0503 FAX(0799)33-0318
〒656-1331 兵庫県洲本市五色町都志大日707

いあこざり

センター長 倉谷 啓子



この4月に洲本市五色健康福祉総合センター長として着任いたしました。私は五色町の地元出身であり、当施設は2度目の勤務になります。どうかよろしくお願い申し上げます。

当センターは平成21年度から洲本市の指定管理を受けて兵庫県社会福祉事業団が運営を始め、早5年目を迎えています。この間、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様方には多大なるご支援、ご理解、ご協力を賜りましたことに、お礼と感謝を申し上げます。

少子高齢化の進展、様々な情勢の変化に伴い、福祉のあり方も複雑になっております。当センターの運営理念「つながる『きずな』 広がる『笑顔』 あなたらしさのお手伝い」を基に、展開する多様な介護保険サービスや福祉活動を通して、こうした時代の変革と要請に対して迅速に対応していけるよう努めて参ります。

これからも高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心した生活が続けられますように、職員一丸となって取り組みますので、さらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さるびあ便り

支援課長 酒井 伸義



この春の人事異動により、特別養護老人ホーム丹寿荘から転

勤して参りました支援課長の酒井です。平成3年に事業団に入職してから、障害者支援施設や病院、特別養護老人ホームで、この間、22年間働いてきました。3月までは介護現場の最前線におり、監督職となった現在とのギャップに日々戸惑い、悪戦苦闘の日々が続いています。しかし、徐々に、微力ながら粘り強く五色・サルビアホールのますますの発展のため、力を尽くす所存です。どうぞ、よろしく願います。



支援課の紹介

① 特別養護老人ホーム五色・サルビアホール(従来型介護老人福祉施設)

2階のフロア部分で、3つの里に分かれており、それぞれ、嘉兵衛、千鳥、都の里と呼んでいます。(多床室、定員60名)

② 五色・サルビアホール菜の花の里(地域密着型介護老人福祉施設)

洲本市の指定管理を受けている施設で1階のフロアを使用しています。地域密着型であることから、基本的に洲本市の方しか入所できない施設となっています。(個室、定員20名)

③ 五色・サルビアホール短期入所生活介護(短期入所生活介護)(介護予防短期入所生活介護)

千鳥の里の一部が短期入所のスペースになっています。(定員10名)

嘉兵衛の里

嘉兵衛の里は、広く明るいデイルームがあります。ベランダに出ると都志の町並みや瀬戸内海が見渡せます。今年度のユニット目標はご利用者に希望の外出をしていただく事です。スタッフが一丸となって取り組んでまいります。

目標

●希望外出の実施

年間の延べ人数が130名以上、各ご利用者の外出希望の聞き取りを行い実施する。

●リハビリ体操の充実

ラジオ体操・口腔体操・リハビリ体操に原則、毎日全員参加する。



千鳥の里

千鳥の里は長期入所のご利用者12名とショートステイのご利用者10名の混合ユニットです。ショートステイのご利用者も含め、さまざまな場所に数多く外出を行っています。希望の外出があれば、お気軽にスタッフまでお申し出下さい。

目標

●希望外出の実施

年間の外出延べ人数が150名以上、長期入所のご利用者別で希望外出の年間件数を定め実現する。

●ひやりハット報告件数の増加

ひやりハット報告を年間150件以上あげ、未然の事故防止に繋げる。



都の里

都の里は、サルビアホールの2階東側にあり、デイルームの窓からは、毎朝、朝陽が暖かく差し込み、ご利用者やスタッフが包み込んでくれます。空間的にはコンパクトなユニットですので、ご利用者により寄り添えるところが魅力です。

目標

●太鼓リハビリの継続実施

昨年度から実施している太鼓リハビリをユニット全体で充実させていく。

●ご利用者個々に適応したお部屋づくり
ご利用者個々の意向にそって居室づくり(飾りやレイアウト等)をし、身体面、精神面で安定した環境設定をする。



菜の花の里

菜の花の里は、窓から都志の町が見渡せる温かい雰囲気のある全室個室となっています。

日々の生活の中で、野菜や花と一緒に植えたり、育てた野菜を使って手作りの食事を食べたり、季節感が感じられる行事を実施しております。

目標

●ユニット内行事の充実

・利用者会で、ご利用者から希望を聞き出し、ユニット内の行事として実施する。
・年間40回以上実施する。

●外出内容の充実

・地域資源を生かした外出の充実を図る。
・年間50件以上実施する。



